



ゆずりは

堺市立図書館だより

第21巻 第2号 (通巻79号)

発行日 令和8年9月10日

編集・発行 堺市立中央図書館

〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-1

電話 072 (244) 3811

FAX 072 (244) 3321

<https://web.d-library.jp/SKI01/g0102/>

[libcontents/search/?gid=1025](https://web.d-library.jp/SKI01/g0102/libcontents/search/?gid=1025)



▲電子版

電子図書館を使ってみませんか？

電子図書館では、インターネットから電子書籍を24時間いつでも借りて読むことができます。

インターネットにつながるパソコン・タブレット・スマートフォンから無料でお使いいただけます。

電子書籍は文字の拡大や音声読み上げなどが可能なものもあります。

堺ライオンズクラブコレクション



堺ライオンズクラブ様から、こどもたちが楽しめる電子書籍コンテンツを毎年新たにご寄贈いただいています。

調べものに役立つ本やゲーム感覚で読める本、読みやすく楽しい古典、こどもたちに人気の読み物や絵本などがあります。

読み放題パック

貸出手続きが要らず、貸出期限もありません。予約の順番を待つことなく、いつでも好きな時に読むことができます。

「角川つばさ文庫」「ジャンプジェイブックス」などのよみものが75点、まんがでわかる科学や歴史の本が94点、合計6シリーズ、169点あります。

地域資料

堺市で出版された行政資料や、「むかしの堺」などの堺市に関する資料が読めます。地域資料はログインなしで読むことができます。

ほかにも、旅行ガイドや資格試験対策本、実用書、趣味の本など、様々な電子書籍があります。新しく入った電子書籍は、「新着図書」として電子図書館のお知らせページで紹介しています。



利用するには？

堺市立図書館の貸出カードをお持ちの方は、すぐに利用可能です。

※泉北地域（泉大津市、和泉市、高石市、忠岡町）および大阪狭山市に在住の方で堺市内に通学・通勤されていない方は電子書籍の貸出はできません（ログイン不要の地域資料を除く）。



(中央図書館 企画情報係)

目次

- 電子図書館を使ってみませんか？ … 1
- この本で解決！
「食肉の部位がのっている本を探している」 … 2
- 中央図書館の再整備に向けた取り組みについて② … 2
- シリーズ堺の人物
「別所やそじ」 … 3
- 親子いっしょにえほんひろば … 3
- 司書のイチ押し
『無人島に生きる十六人』 … 4
- 堺市立図書館電話番号一覧 … 4

ゆずりは

とは…

中央図書館の正面玄関前に、堺生まれの詩人河井醉茗氏の歌碑があります。

年ごとに
ゆずりゆずりて
譲り葉の
ゆずりしあとに
また新しく



この歌にちなみ、年月を経て、世代を越えても、次々に新しい情報をお伝えできるように、堺市立図書館だより「ゆずりは」と名づけました。

バックナンバーは

こちらから▶





「食肉の部位が載っている本を探している」



図書館に寄せられた様々な質問と回答を紹介します

お問い合わせに対し、回答の載った本はひとつの分野から得られるとは限りません。役に立つ本はいくつもの分野の書架で見つかる場合があります。今回は、別々の分野・コーナーにある3冊をご紹介します。

Q 食肉の部位をわかりやすく描いた（配置）図が載っている本を探している

A この問い合わせではじめに手にとるのは調理・料理の本ですが、肉の部位の名称や特徴の解説は見つかったも、図の載った本はひとつひとつの本をあたらないとなかなか見つかりません。



『ハ訂準拠ビジュアル食品成分表 2026』新しい食生活を考える会／編著 大修館書店 2026

そんなとき役に立つ『ハ訂準拠ビジュアル食品成分表 2026』をご紹介します。食品学を扱う（日本十進分類法の）498.5類（食品・栄養）の書架にあり、食品の解説と栄養成分、調理に関する情報がカラー印刷で載っています。部位を示す図に加え豆知識などのコラムもあり、調べたいこと以外にも食品関連の多くの情報を得られるハンドブックです。

次にご紹介するのは、648類（畜産製造・畜産物）の書架にある『肉完全バイブル』です。食肉の基礎知



『肉完全バイブル』高良 康之／監修 山本 謙治／監修 ナツメ社 2022

識に加え、他の本では見られない羊や鴨、馬、鹿、イノシシ、ウサギなどの部位を説明する図や牛・豚・鶏の副生物（皮以外の内臓で食することができるもの）の部位を示す図があります。それ以外にも食肉の流通や家畜の飼育情報、食肉の保存・安全性など畜産の観点からみた

情報を得ることができます。また児童書コーナーの『給食にでてる魚と肉の切り身図鑑』もおすすめです。この本は、魚の切り身の情報が一緒に入っているため6類（水産業）の書架にあります。説明の漢字にはすべてふりがなが振られ、食品情報から食文化、食品衛生などを楽しみながら学ぶ本のつくりになっています。



『給食にでてる魚と肉の切り身図鑑』こどもくらぶ／編 あすなろ書房 2023

普段あまり手にしない分野の本も、たまにはちょっとのぞいてみませんか。今後に役立つ楽しい出会いがあるかもしれません。

（梶分館 レファレンス担当）

中央図書館の再整備に向けた取り組みについて②

中央図書館の再整備に向けて、今年度「（仮称）中央図書館パブリックサービス機能基本構想」を策定します。策定にあたり、7月31日と8月1日に「これからの図書館を考える」ワークショップを開催し、計54の方にご参加いただきました。参加者からは、「学習や読書ができる快適な空間」、「カフェや交流スペース」、「こどもの居場所」、「バリアフリー環境の充実」などを求める声が寄せられました。ワークショップで得られた意見を、分析・整理した上で、（仮称）中央図書館パブリックサービス機能基本構想に反映していきます。

（中央図書館 企画情報係）



◀「中央図書館再整備に向けた基本的な考え方」

シリーズ

堺 の人物

別所やそじ

今年は『むかしの堺』が発行されて50年目にあたります。『むかしの堺』は、こども達に堺の誇りを知ってもらい、郷土愛を培う手がかりになるようにと、堺の歴史や名所・旧跡を児童文化雑誌『はとぶえ』に連載し、創刊25周年記念事業の一環として、1冊にまとめたものです。



『むかしの堺』

堺市の小学校に通っていた人は誰もが知っている『はとぶえ』。「自分の作品が載ったことある」という人も、「一度は載りたかった」という人もいます。昭和26年7月発行の創刊号を編集した人物が、別所やそじ氏です。当時は堺市立湊小学校4年生の担任教師でした。まだ戦争の爪あとが残り、食料も衣料も不足して苦しい生活のなか、別所氏は、こどもの心だけは明るく豊かであってほしい、素朴な生活の感動をそのまま表現させたいと願って詩を書くことを指導しはじめました。教師たちの有志で



『児童詩集
(はとぶえ創刊号)』

児童詩同好会がつくられ、「子どものための子どもの詩の雑誌を作ろう」と作品を募集、『児童詩集』と表紙をつけて発行したのが、のちの『はとぶえ』の創刊号です。4ページの詩のプリントとして70部印刷し、各小学校と教育委員会に配布しました。詩人の安西冬衛に名づけてもらい、2号目から『はとぶえ』として発行しました。

初めのうちは、発行にあたり印刷代を集金していたこともあり、なかなか周りの大人に理解を得られず、自分のクラスの作品が載らなかったと非難されたり、若いのに生意気だ、暗い詩が多いと言われたり、決して順風満帆ではありません

でした。少しでも早く理解してもらうために、別所氏は堺市の小学校の校長に手紙を送ったり、教師に『はとぶえ』の趣旨を印刷して配布したりして、関心を高めるように努め、徐々に送られてくる作品も発行部数も増えていきました。後には詩だけではなく、作文や線画や習字も掲載するようになり、児童文化の月刊雑誌として『はとぶえ』は広く知られるようになりました。

別所氏は『はとぶえ』の編集だけでなく、『先生の綴方』シリーズや、数多くの詩集や文集の編集も手がけました。また、こどもの遊びの中に生かせる郷土学習として『堺かるた』や『はとぶえかるた』なども作成しました。



『堺かるた』

『文集はとぶえ二十年』のあとがきで別所氏は、「自発性、継続性、共感性の三つは、有機的に結びついたもので、子どもの詩や綴方の指導上、どれ一つとして欠くことのできないものです。そして、この三つをつらぬいているものは、「継続は力なり」ということでありまして、「はとぶえ」創刊以来の信条であり、経営の基本であります」と述べています。

【参考資料】

- 『むかしの堺』 別所やそじ・尼見清市／著 はとぶえ会 1976
- 『はとぶえ 小学生の詩と綴方』 別所やそじほか／編 三一書房 1958
- 『文集はとぶえ二十年』 別所やそじ／編 はとぶえ会 1972
- 『詩集はとぶえ二十年』 別所やそじ／編 はとぶえ会 1972
- 『堺かるた録』 別所やそじ／編 堺かるた普及会 1986

(中央図書館 地域資料担当)

令和8年度 ふるさと納税を活用した

親子読書推進事業

親子いっしょにえほんひろば

「親子いっしょにえほんひろば」の利用団体を募集しています！市内各地域で活動している子育てに関わる団体の集まりに、「絵本パック」を持って図書館司書が伺います。

7月に「みんなの子育てひろば」を訪問した際は、赤ちゃん向け絵本の特徴の説明や、年齢に合わせた絵本の読み聞かせ会を行いました。また、絵本選びや絵本の読み方に関する相談にもお答えしました。最後に、持参した絵本パックの中から好きな本を自由に読んでもらい、絵本を通して楽しいひとときを過ごしていただきました。

(中央図書館 こども室)



▲くわしくはこちら



司書のイチ押し



『無人島に生きる十六人』

須川邦彦／著

中学生ぐらいの頃からでしょうか。図書館を利用する側だった私には「今返ってきた本」のブックトラックは図書館に入って、まずチェックする場所になっていました。そこでは、ようやく予約が途切れた話題になっていた本や、他の利用者の方が見つけてくれた、おもしろそうな本に出会う確率が高かったのです。そこで出会ったのが今回のご紹介する本です。

この本は海難事故に遭った中川船長の話をもとに、教え子の須川邦彦さんが伝え聞いた話が元になっています。「事実は小説より奇なり」という言葉がありますが、「本当に実話か?」と思ってしまう力強いエピソードに溢れています。

時は明治31年、北海道の占守島と内地を結ぶ連絡船である龍睡丸は、冬の間に南方（小笠原諸島方面）へ海洋調査に行くことになります。しかし、大西風にあおられ進路をハワイ方面にする事を余儀なくされたまま、暗礁に乗り上げ船は難破してしまいます。そこで乗組員の十六人は無人島にたどり着き生活することになるのです。

一見、悲惨な境遇に陥ると思いますが、この十六人はひたすらに前向きでポジティブです。「鉄の船なら壊れたら直せないが、木の船なら直せる」「（遭難する状況を前にして）愉快地暮らそう。できるだけ勉強もしよう。いつでも先の希望を見つめているように。日本の海員には絶望ということはないのだ」これをやせ我慢などではなく、本心で思っていることが本文の端々から読み取れます。便利になった令和の現代では失われつつある、自分の力で生き抜いていく力、そう思える信念、

それを実現できる技術力を、この十六人は持ち合わせていました。

この本は図書館で借りていただくこともできますし、図書館ホームページの電子図書館でも読むことができますので、スマホやパソコンですぐに楽しむことができます。（電子図書館の青空文庫にも収録されています。）

不屈の気持ちでサバイバルを楽しむ十六人の物語をぜひお楽しみください。

(K・R)



須川邦彦／著

『無人島に生きる十六人』

（新潮文庫刊）新潮社 2003

☎ 堺市立図書館電話番号一覧 ☎

中央図書館 244-3811
移動図書館 244-3811
堺市駅前分館 222-0140
中図書館 270-8140
東百舌鳥分館 234-9600
東図書館 235-1345
初芝分館 286-0071

西図書館 271-2032
南図書館 294-0123
梅分館 296-0025
美木多分館 296-2111
北図書館 258-6850
美原図書館 369-1166

人権ふれあいセンター・船松人権歴史館
人権資料・図書室 245-2534
青少年センター図書室 228-6331
図書館カウンター堺東 232-1011



▲図書館 HP

<https://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/library/>